

イチオシ!

M OVIE

『サイの季節』

時は20世紀後半、イラン・イスラム革命。主人公の詩人サヘルは、反体制的な詩を書いたとして、妻ミナと共に逮捕される。幸せな生活から一転、サヘルに下された判決は禁固30年。その後、長い刑期を終え、先に釈放されたミナの行方を捜し始めるが、政府のうそによって自分は社会の中で“死んだ”ことにされている事実を知る。一方、悲しみに暮れるミナのそばには、2人の間を引き裂いた男の影が一。実在する詩人の体験談を基に、イラン出身の名匠ゴバディがメガホンを取ったことで話題を集める作品だ。



2012年/イラク・トルコ/1時間33分

監督: バフマン・ゴバディ

出演: ベヘルーズ・ヴォスギー、モニカ・ベルッチ、ユルマズ・エルドガン他

公開: 7月11日(土)よりシネマート新宿ほか全国順次公開

URL: www.rhinoseason-espacesarou.com/

配給: エスパース・サロウ

E VENT

『第18回カナガワビエンナーレ国際児童画展 —みんなの平和を祈って—』

世界の子どもたちは、普段どんなことを考えているのか。心の中をのぞいているような気分になれる国際児童画展が神奈川県で開催される。97の国と地域から寄せられた2万6000点以上の作品の中から、入選した520点を展示。家族や友達を描いた作品から、紛争やエボラ出血熱といった各国の実情を伝える作品まで、感性豊かな子どもたちの思いが自由に表現されている。日本からの絵も展示されていて、それぞれの国の個性を見つけてみるのも面白いかもしれない。



診察室/ディマナ・クラシミロヴァ・スタヤノヴァ
(ブルガリア) © 神奈川県

会期: 7月3日(金)~8月23日(日)

10時~17時(月曜休館/入場は16時半まで)

会場: あーすぶらざ3階 企画展示室(神奈川県横浜市)

問: カナガワビエンナーレ国際児童画展事務局

TEL: 045-896-2121

URL: www.earthplaza.jp/biennial/

B OOK

『トットちゃんとトットちゃんたち 1997-2014』

テレビの司会者を務める傍ら、1984年からユニセフ親善大使として世界各国を訪問している黒柳徹子さん。子どものために何をすべきかを問われたときは、「知ってください、関心を持ってください」と答えているという。この本が描き出すのは、黒柳さんが97年からの18年間で訪問した国々の「トット(スワヒリ語で子ども)ちゃん」たちの物語。内戦や飢饉などに苦しみながらも、子どもたちの目には希望が輝いている。



黒柳徹子 著
講談社
1,728円(税込)

この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

B OOK

『顧みられない熱帯病 —グローバルヘルスへの挑戦』

「顧みられない熱帯病(NTDs)」という言葉をご存知だろうか。足が象のように大きく腫れる「象皮病」、結膜炎を引き起こす「トラコーマ」、突然死に至ることもある「シャーガス症」など17の病気を指し、開発途上国を中心に10億人以上が苦しんでいる。本書では、ワクチンの開発などNTDs対策を牽引してきた著者が、深刻な社会問題となっているその実態と、各国政府や製薬企業などによる官民連携の取り組みを紹介。日本としてどう向き合っていくべきか、一人一人が考えるきっかけとなるはずだ。



ピーター・J ホッテズ 著
東京大学出版会
4,536円(税込)

この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ